

低温食品業界をリードする情報誌

日刊
速報

冷食タイムス



The Frozen Food Times

発行所 株式会社水産タイムズ社

編集発行人 越川宏昭

〒108-0014 東京都港区芝5-9-6

TEL03(3456)1411 FAX03(3456)1416

ホームページ <https://suisantimes.co.jp/>

e-mail reisyoku@suisantimes.co.jp

日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)

購読料 1カ月 5,280円(税別 4,800円)

6カ月 31,680円(税別28,800円)

2022年(令和4年)

11月28日(月)第8797号

SMトレードショー、冷食展示53社・団体が出展

(一社)全国スーパーマーケット協会は「第57回スーパーマーケット・トレードショー2023」(SMTS)を千葉の幕張メッセで来年2月15~17日開催する。例年通り同協会主催の「デリカテッセン・トレードショー2023」、(一財)食品産業センター主催の「第18回こだわり食品フェア2023」と同時開催し、食品流通業界に最新情報を発信する。SMTSの主催者企画「食のトレンドゾーン」に「美と健康×食」、「サステナビリティ×食」に加えて新たに「冷凍×食」を追加する。

「冷凍×食」の企画は53社・団体が132小間に出展する。大手メーカーだけでなく有名シェフ・名店監修商品や地方メーカーの埋もれている商品なども含め新商品約200品を一堂に展示する。他にも各スーパーマーケットのプライベートブランド商品の試食企画やセミナーも実施する。冷凍関連機器や技術、冷凍ショーケース、自販機、電子レンジなどの機器なども紹介する。

「冷凍×食」の出展社は以下の通り。

▽アイスライン▽青森県(冷凍ベンチャ

一事業)▽秋田比内や▽アキラッチ「PIZZA AKIRATSCH」▽アトム技研▽アビオ▽イートアンドフーズ▽SL Creations▽エムアイフーズスタイル 冷凍食品▽オイシックス・ラ・大地▽OSMIC▽オリザ▽カラミノフーズ▽菊岡夫婦社▽国分グループ本社 食のトレンドゾーン▽サンフレッセ▽ジェリービーンズ▽島のごちそう▽JALUX▽信栄食品▽スナッツフーズ▽成城石井 冷食部門▽西友フーズ▽千賀屋▽双日食料 ロイヤル▽大志プラン▽Talley's▽中央化学冷凍容器▽テクニカン▽Traiteur de Paris▽ニチノウ▽日清医療食品▽日本アクセス冷凍食品▽バスコフーズ▽PIZZAREVO▽フーズテック▽BRIDOR▽フロンティア物産食材事業部▽米国ポテト協会 シンプロット・ジャパン ラムウェストンジャパン▽ホットドッグ▽正木牧場▽マルハニチロ▽Mandrillus▽やす武「梅ヶ枝餅 やす武本店」▽柳川冷凍食品▽U・STYLE▽楽天グループ▽レイテック(特設)▽ワイティケー▽わらく堂など

NTT東、冷凍自販機の電子看板実験……………2
日給連中込会長「人と人の思いが勝利に」……………2
10月の都区部消費者物価、冷食上げ基調……………2
QP、SDGsもったいないを動画で学ぶ……………2
Gカルチャー、Xマス植物肉惣菜発売……………3
イートアンド、餃子に貝やりんご……………3
日清製粉G、「コニヤラ」新CM投入……………3

神戸物産10月は15%増収、通期も好調……………4
ヨシケイ、人気No.1特集を企画……………4
中国青島市で感染拡大、水産博再々延期……………4

あしからず

浪速魂の大サービス……………4

N T T 東、冷凍自販機の電子看板実験

N T T 東日本宮城事業部はデジタルサイネージ（電子看板）によるコンテンツ配信が冷凍自動販売機の売上げ向上に寄与するか、実証実験を仙台市でこのほどスタートした。

自販機は同市内にあるN T T 東日本五橋ビル前の敷地内に設置した。歩道に面しており、横に公衆電話ボックスを置いている。A Iカメラは自販機の上部に取り付けた。

昨年度実施した調査では、A Iカメラ映像解析技術を活用した映像解析データと、商品販売データを掛け合わせ、主に商品購入者属性（年齢・性別）を調査・分析した。今年度の実証実験では、昨年度の調査分析データを基に、商品購入者層に向けたコンテンツ配信による販売効果、デジタルサイネージの有用性を検証する。

「宇都宮餃子」（宇都宮餃子館）、「豚骨ラーメン白丸元味」（一風堂）など餃子とラーメン5品を販売。単価は900～1100円。自販機のメニューパネル部分を一部サイネージ化し、動画や静止画を流す。第1弾はラーメンと餃子のスライド画像を流しているが、今後は店舗の紹介や調理動画などに変更する予定。1～1.5カ月で商品の入れ替えを予定しており、第2弾はスイーツ系を計画しているという。実証実験は来年3月末までの予定。

冷凍自販機の販売・運営と商品開発を手掛ける株式会社SOBOと、データ分析を担う株式会社ハブアンドスポーク、冷凍自販機メーカーのサンデン・リテールシステム株式会社が協力している。

日給連中込会長「人と人の思いが勝利に」

（一社）日本給食品連合会は理事・委員と特別会員メーカーとの情報交流会を24日午後、都内のホテルで開催した。挨拶に立った中込武文会長（甲信食糧社長）は前日のサッカーワールドカップで日本代表が逆転勝利したことと、この日特別講演した山梨学院大学陸上競技部の上田誠仁監督の話の内容を受け「決勝弾の2点目を放った浅野拓磨選手は前回のロシア大会で選手選考からもれた悔しさを胸



サッカーと駅伝を
からめて挨拶した
日給連中込会長

に臨んだはず。思いの強さが成果を出す」と受け止め方を示し「上田監督の話も大学1年生の時、箱根駅伝のエントリー選手となったものの、前日夜に選手から外された経験があり、故郷香川の父親に泣きながら電話した時の父からの諭しの言葉がその後を育んだ。人と人の思いが大きなものを生み出す」とコメント。2つの経験を活かし、日給連の事業活動に生かしたい、と指摘した。

推奨メーカーを代表して三島食品の三島豊会長は「マスクはするが、アクリル板も指名着席もない本日のような交流が戻ったことは喜ばしい」と挨拶し、コロナに向かう強い気持ちを込めて乾杯の音頭を取った。

立食でバンケット料理を自由に選んで飲食する宴。参加者同士が久々の交流を楽しんだ。

中締めは特別会員顧問の高宮満キューピー社長。高宮社長は小学校時代の給食で食べた鯨から資源保護と日本の将来を学んだと紹介し、その後の日本の国力の変化を指摘。「給食を通じて子供たちに夢と元気を与えよう」と挨拶した。

理事、委員、特別会員メーカー、来賓などを合わせ88名が参加した。

10月の都区部消費者物価、冷食上げ基調

総務省が発表した10月の都区部の消費者物価の中で、冷食関係も高値基調になってきた。

2020年度平均を基準値とする10月の2人以上世帯の冷凍米飯は108.9となり、8月101.6、9月106.3からさらに上昇した。

冷凍コロッケは121.9とさらに高値が如実になった。8月101.8、9月117.0だった。

冷凍ハンバーグは8月104.9、9月105.4から10月は107.3と上げ基調。

冷凍餃子だけは21年2月以降基準値割れが続いており、10月は95.7だった。

QP、SDGsもつたいないを動画で学ぶ

キューピーは食育コンテンツ「食生活アカデミー」で「動画で学ぼう！“もつたいない”を価値あるものへ」を公式サイト内にこのほど公開した。SDGs 17の目標のうち「目標12：つくる責任 つかう責任」について、「卵の有効活用」の取り組みを動画とテキストでわかりやすく紹介している。